

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
本製品は国内専用です。



アルパイン株式会社 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
お問い合わせはインフォメーションセンターへ
TEL: 03-3779-0711 FAX: 03-3494-1767
電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面（FAXまたはハガキ等）をご利用ください。
電話受付時間 9:30～17:30（平日の12:00～13:30と土日、祝祭日は除く）
FAXは、24時間受付けております。
Designed by ALPINE Japan Printed in Japan (T) 68P10924Y05-A



MDA-7751J

MDヘッド・ユニット

取扱説明書

検索には各ページ上部角のアイコンをお使いになると便利です。



安全にお使いいただくために 2



目次と基本操作 5



MDを聴く 13



CDを聴く 19



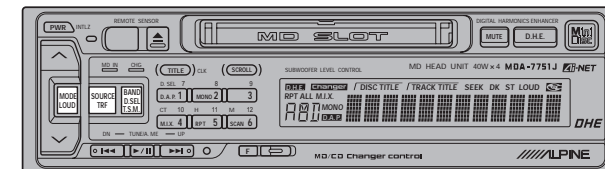
ラジオを聴く 24



便利な機能 32



リモコンで操作する 39



MDA-7751J

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示しています。		

本機は国内専用です。規格の違う外国では使用できません。
本機のお手入れは、乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナー類は、ケースが変質 / 変形しますので絶対に使わないでください。
夏期など車内の温度が高いときは、車内の温度を下げてから使用してください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

警告

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。

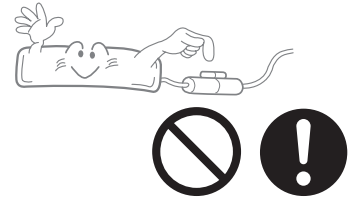


小物類は幼児の手の届かないところに保管する
小物類<電池・ネジなど>は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

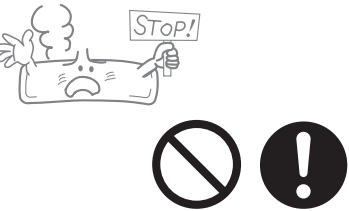


ヒューズ交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量（アンペア数）を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる
音が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作すると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



安全にお使いいただくために



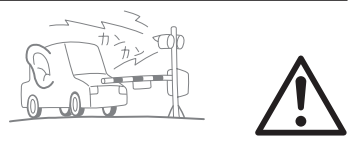
安全にお使いいただくために、必ずお守りください

目次

注意

音量を上げすぎない

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



車以外には使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



新旧の電池を混ぜない

極性を間違えないように挿入する

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定していない電池を使用しないでください。また、挿入する際は極性 +・- に注意し指示通りに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。



挿入口やすき間には異物を入れない

ディスクの挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。



運転の妨げになる操作は停車させてから行う

ディスクの出し入れ操作が運転（シフトレバー操作など）の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。



取り扱い上のご注意

「ミニディスクについて」(41ページ)も合わせてご覧ください。

ミニディスクの取り扱い

次の点を守ってお使いください。
シャッターを開けない / 内部にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る / ホコリやごみが付いたら拭きとる

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。



安全にお使いいただくために

警告 / 注意	3
目次	5



基本操作

スイッチの名称	6
電源のON / OFF	9
瞬時に音量を下げる	9
音量 / 音質の調整	10
リセットする	12



MDを聴く

ミニディスクの入れかた / 取り出しかた	13
演奏する	14
曲の早送り / 早戻し	15
曲の頭出し	15
曲のイントロを聴く	16
繰り返し聴く	16
曲順を変えて聴く	17
タイトルを表示する	18
MDチェンジャー(オプション)の操作	19



CDを聴く

6/12連奏CDチェンジャー(オプション)の操作	19
CDにタイトルをつける	20
タイトルで検索する	22
タイトルを消す	23



ラジオを聴く

放送局を選ぶ(マニュアル)	24
自動で放送局を選ぶ(SEEK)	25
放送局を記憶する(プリセット・メモリー)	26
自動で放送局を記憶する(オート・メモリー)	27
FM / AM放送局を合わせて記憶する	28
記憶させた放送局を受信する	29
道路交通情報	29
放送局にタイトルをつける	30



便利な機能

ラウドネスのON / OFF	32
サブウーハーレベルの調整	32
D.H.E.モードの選択	33
FMダイバーシティのON / OFF	34
サウンドガイド機能	35
コントラストの調整	36
外部割り込みモードのON / OFF	37
時刻表示機能	38



リモコンで操作する

使用時のご注意	39
基本操作 / MD / CDを操作する / ラジオを聴く	40

その他

ミニディスクについて	41
故障かな? と思ったら	42
保証について	44
規格	45
D.H.E.について	46



MDを聴く

よく使う操作項目には「アイコン(絵表示)」がついています。アイコンは、各ページ上部の角にも載っていますので、検索するときに利用してください。



スイッチの名称

このページでは、ソースごとのスイッチの名称について説明しています。

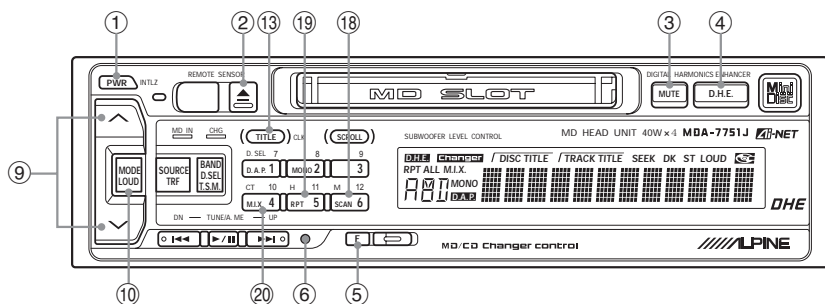
MDは「MDを聴く」、ラジオは「ラジオを聴く」をご覧ください。
リモコン操作については、39ページ、40ページの「リモコンで操作する」をご覧ください。



基本操作 (P. 9 ~ P. 12)



便利な機能 (P. 32 ~ P. 38)



	基本操作	便利な機能
1	電源スイッチ / イニシャライズ・スイッチ	
2		サブウーハーON / OFFスイッチ
3	ミュート・スイッチ	
4		D.H.E.スイッチ
5	ファンクションON / OFFスイッチ	
6	リセット・スイッチ	
9	オーディオ・レベル調整スイッチ	
10	オーディオ・モード切りかえスイッチ	ラウドネス・スイッチ
13		時刻表示 / 時刻調整スイッチ
18		分調整スイッチ
19		時調整スイッチ
20		時報合わせスイッチ



Memo

ファンクション・スイッチについて

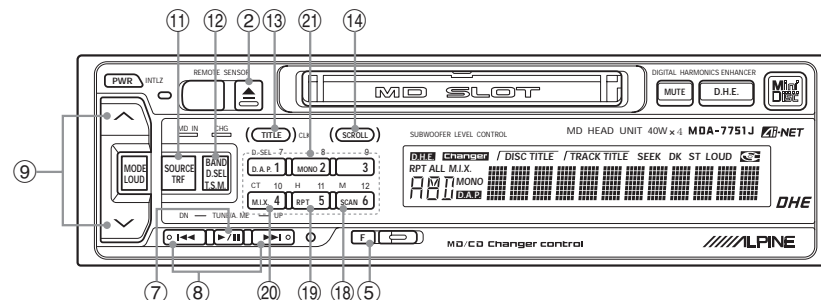
ファンクション・スイッチの使いかたは、8ページの表を参考にしてください。

この製品はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

スイッチの名称



MDを聴く (P. 13 ~ P. 19)

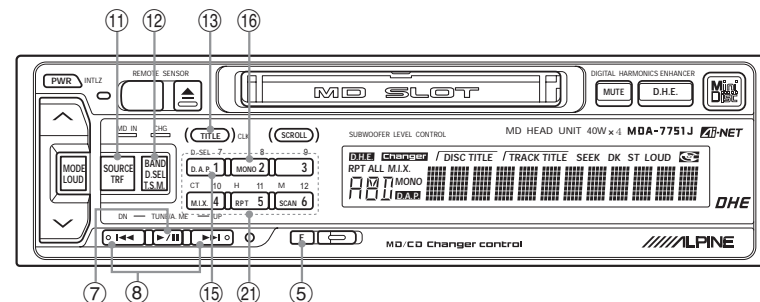


2	イジェクト・スイッチ	12	タイトル・サーチ・メニュー・スイッチ
5	ファンクションON / OFFスイッチ	13	タイトル・スイッチ
7	プレイ / ポーズ・スイッチ	14	スクロール・スイッチ
8	早送り / 早戻しスイッチ	18	スキャン・スイッチ
9	ディスク選択モード切りかえスイッチ	19	リピート・スイッチ
11	オーディオ・ソース選択スイッチ	20	ミュージック・イン・クロスプレイ・スイッチ
12	ディスク選択スイッチ	21	ディスクNo.選択スイッチ

MD / CDチェンジャーを接続している場合に有効です。
CDチェンジャーを接続している場合に有効です。



ラジオを聴く (P. 24 ~ 31)



5	ファンクションON / OFFスイッチ	12	バンド切りかえスイッチ
7	オートメモリー・スイッチ	13	タイトル・スイッチ
7	チューニング・モード切りかえスイッチ	15	ダイレクト・アクセスメモリー・プリセット・スイッチ
8	チューニング・アップ / ダウン・スイッチ	16	ステレオ / モノラル・スイッチ
11	オーディオ・ソース選択スイッチ	21	プリセットNo.選択スイッチ
	トラフィック・インフォメーション・スイッチ		



スイッチの名称

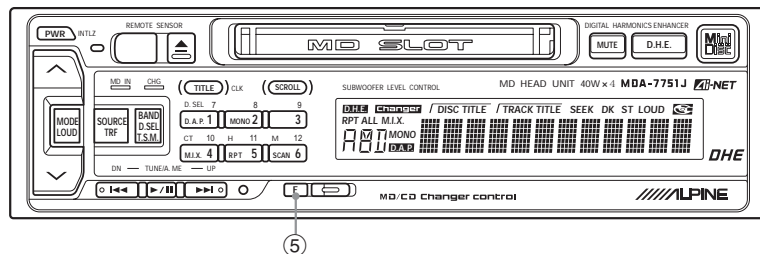
電源のON / OFF
瞬時に音量を下げる



ファンクション・スイッチを覚えて、操作をマスターしよう。



ファンクション・スイッチの使いかた

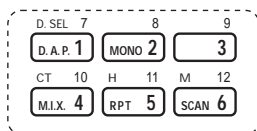


- MDモード以外するとき、F (ファンクション) ON / OFFスイッチを押します。
押すごとに インジケーターが点灯 / 消灯します。



インジケーター点灯 (ON) ↔ インジケーター消灯 (OFF)

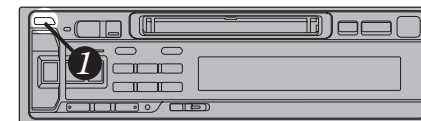
2



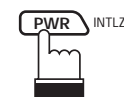
いずれかを押します。

モード	ファンクション インジケーター (点灯 / 消灯)	D.A.P. 1	MONO 2	3	M.I.X. 4	RPT 5	SCAN 6
ラジオ		プリセット1	プリセット2	プリセット3	プリセット4	プリセット5	プリセット6
		D.A.P. (ダイレクト・アクセス・メモリー・プリセット)	MONO (ステレオ/モノラル)				
MD ヘッド・ユニット					M.I.X. (ミュージック・イン・クロスプレイ)	RPT (リピート)	SCAN (スキャン)
MD / CD チェンジャー		ディスクセレクト1 (ディスクセレクト7)	ディスクセレクト2 (ディスクセレクト8)	ディスクセレクト3 (ディスクセレクト9)	ディスクセレクト4 (ディスクセレクト10)	ディスクセレクト5 (ディスクセレクト11)	ディスクセレクト6 (ディスクセレクト12)
					M.I.X. (ミュージック・イン・クロスプレイ)	RPT (リピート)	SCAN (スキャン)

電源のON / OFF



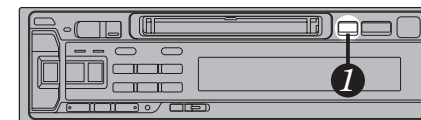
- PWR (パワー) スイッチを押します。



- 電源を切るときは、再度PWRスイッチを押します。



瞬時に音量を下げる MUTE (ミュート)



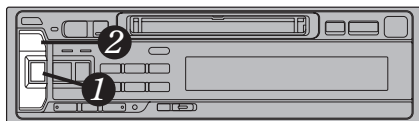
- MUTE (ミュート) スイッチを押します。
解除するには、再度MUTEスイッチを押します。



基本操作



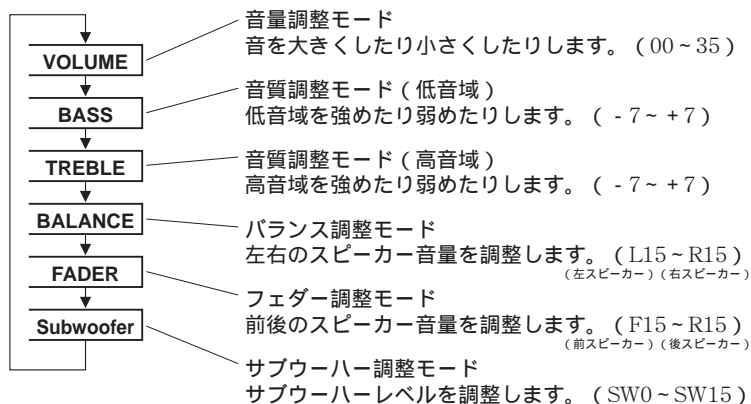
音量 / 音質 / バランス / フェダー / サブウーハーの調整



モードを選択して好みのレベルに調整することができます。

1 MODE (モード) スイッチを押します。

押すごとにモードが切りかわるので、調整したいモードを選びます。

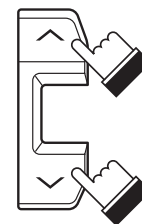


...サブウーハー調整モードは、
▲(イジェクト)スイッチを3秒以上押すことでモード設定に入ります。
詳しくは32ページ「サブウーハーレベルを調整する」をご覧ください。

2

1でモードを選択したら5秒以内に
▲、▼スイッチを押してレベルを調整します。

スイッチの押しかたで調整速度を変えることができます。



[例：ボリューム調整]

浅く押す



(数字の表示が一段階変わる)

深く押し続ける



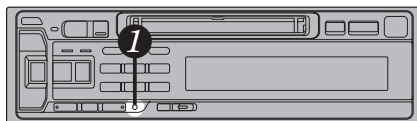
(数字の表示が速く変わる)



モードを選択して5秒間レベル調整を行わなかった場合、モード選択前の表示に戻ります。

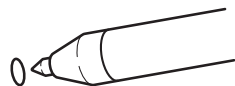


リセットする



初めて使う、チェンジャーを取り付けた、車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 リセット・スイッチをボールペンなどの先のとがったもので押します。

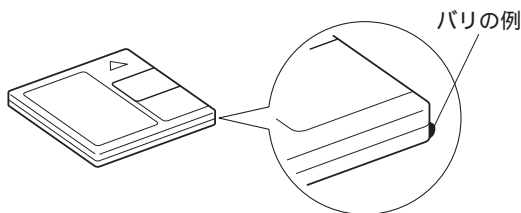


リセットした場合、すでに記憶させた内容は消去されますのでご注意ください。

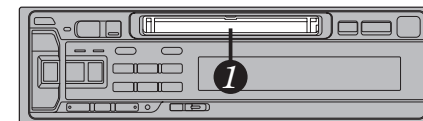
ミニディスクを挿入する前に

ミニディスクの外側を指で触って「バリ」が無いことを確認してから挿入してください。もし「バリ」があったときは、取り除いてから挿入してください。

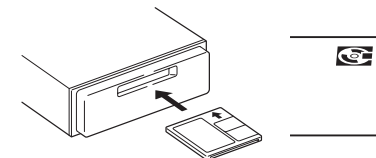
「バリ」を付けたまま挿入しますと動作不良や故障の原因になる場合があります。



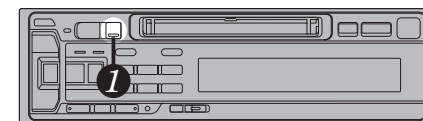
ミニディスクを入れる



- 1 ミニディスクを挿入します。
図のようにラベル面を上にして、矢印の方向へ挿入してください。
インジケーターが点灯し、演奏が始まります。



ミニディスクを取り出す



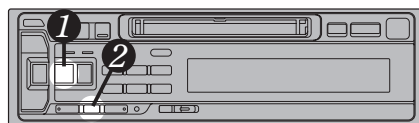
- 1 ▲(イジェクト)スイッチを押します。
取り出したディスクはケースに入れて保管してください。



挿入できるミニディスクは一枚だけです。
外側に付いたホコリやごみを落としてから挿入してください。
重ね貼りしたラベル、はがれかかったラベルが付いたものは使わないでください。
ミニディスクは自動的に引き込まれます。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。
電源がOFFの状態でミニディスクを挿入しないでください。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。



演奏する



- 1 SOURCE (ソース) スイッチを押します。
押すごとにモードが切りかわります。
ディスプレイの表示を見ながらMDのモードに
合わせてください。



→ TUNER → TV → MD → CHANGER →

(各ユニットを接続している場合に表示)



切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

- 2 演奏を一時中止するには、▶/■ スイッチを押します。
再度、▶/■ スイッチを押すと演奏が開始されま
す。

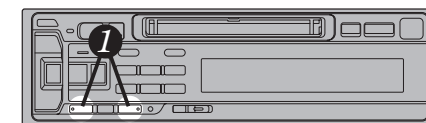


PAUSE

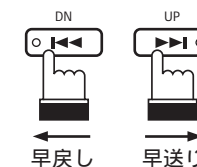
ミニディスクが挿入されているときはディスプレイの **MD IN** インジ
ケーター (赤色) が、チェンジャーが接続されているときには、
CHG インジケーター (緑色) が点灯します。



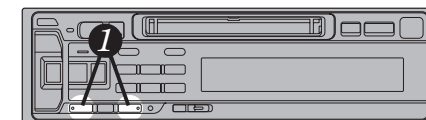
曲の早送り / 早戻し をする



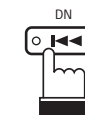
- 1 早送りスイッチまたは早戻しスイッチ
を押し続けます。
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が
始まります。



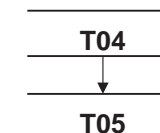
曲の頭出しをする (ミュージック・センサー)



- 1 (演奏中の曲の頭出しをする場合)
DNスイッチを軽く押します。
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作
を繰り返します。



- (次の曲の頭出しをする場合)
UPスイッチを軽く押します。
次の曲の頭から演奏されます。
聴きたい曲がさらに後にあるときは、この操作
を繰り返します。



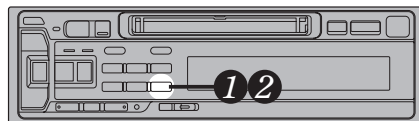


曲のイントロを聴く 繰り返し聴く

曲順を変えて聴く



曲の初め（イントロ） だけを聴く SCAN（スキャン）



曲の出だしの部分を聴いて、聴きたい曲を探します。

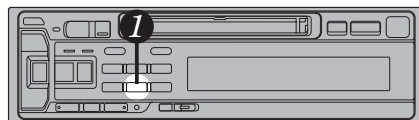
- 1 SCAN（スキャン）スイッチを押します。
順に、曲の初め（イントロ）だけが10秒間ずつ演奏されます。



T04 SCAN
↓
T05 SCAN

- 2 聴きたい曲が見つかったら、その曲のイントロ演奏中に、再度SCANスイッチを押します。

繰り返し聴く （リピート演奏）



気に入っている曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 曲が演奏されているときに、RPT（リピート）スイッチを押します。
解除するには、再度RPTスイッチを押します。



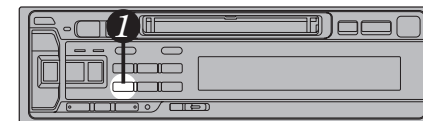
(OFF)
↓
(1曲リピート) RPT
↓
(全曲リピート) RPT ALL

...チェンジャー・モード時



解除しないかぎり、その曲の演奏が終わっても繰り返し演奏されます。チェンジャー（オプション）では、ディスクの全曲繰り返し演奏の全曲リピート（RPT ALL）ができます。このとき、Fスイッチを押してインジケータを消灯させてから、RPTスイッチを押します。

曲順を変えて聴く M.I.X.



（ミュージック・イン・クロスプレイ）

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 M.I.X.（ミュージック・イン・クロスプレイ）スイッチを押します。
解除するには、再度M.I.X.スイッチを押します。



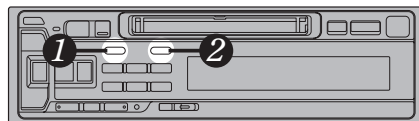
(OFF)
↑↓
M.I.X.



チェンジャー（M.I.X. ALL機能をもつ製品）と接続した場合は、M.I.X.の次にくる表示がALL M.I.X.になります。これはすべてのディスクの曲が順不同に演奏されます。

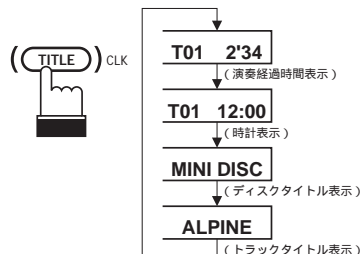


タイトルを表示する

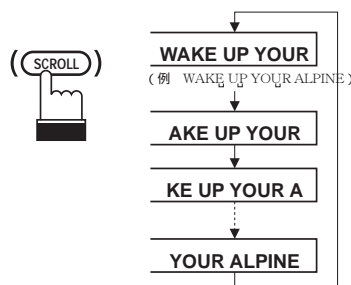


MDのトラック・タイトル(曲名)/ディスク・タイトルを表示させることができます。

- 1 ミニディスク演奏中にTITLEスイッチを押します。
押すごとに表示が切りかわります。

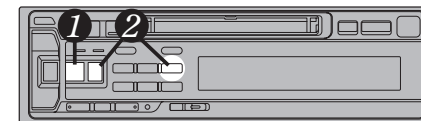


- 2 ディスク名、曲名が長い(タイトル名が12桁を超える)場合は、SCROLLスイッチを押します。
タイトルを1桁ずつスクロール表示をさせます。最終桁を3秒間表示した後、通常モードに戻ります。



表示中のタイトルが曲名(トラック・タイトル)かディスク名かを知るには、点灯しているインジケータでわかります。
ディスク・タイトルのとき.../DISC TITLE
トラック・タイトルのとき.../TRACK TITLE
録音/タイトル入力した機器によっては、本機で文字を正確に表示できない場合があります。

MDチェンジャー、6/12連奏CDチェンジャーの操作

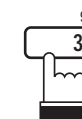


当社のAi-NET対応チェンジャー(オプション)が接続されている場合は、本機からチェンジャーを操作することができます。
ディスクを選んだ後は、本機と同様の操作ができます。

- 1 SOURCEスイッチを押してチェンジャー・モードにします。
押すごとにモードが切りかわります。



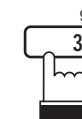
- 2 例えばディスク3枚目を選ぶときは...
[3]スイッチを押します。



D3 T01 0'02

例えば12連奏CDチェンジャーのディスク9枚目を選ぶときには...

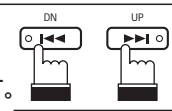
D.SEL(ディスク・セレクト)スイッチを押してD.SEL ONにした後、[3]スイッチを押します。



D9 T01 0'02

- 3 選択されたディスクNo.が表示され、演奏が始まります。

曲の番号(トラックNo.)を指定するには
軽くDN◀◀またはUP▶▶スイッチを押します。



D2 T05 0'16

ディスクNo. トラックNo. 演奏経過時間

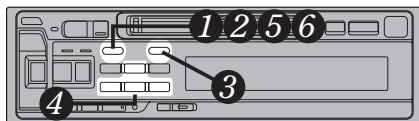




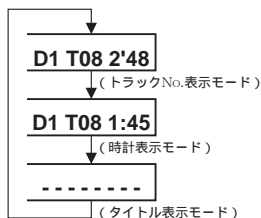
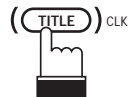
CDにタイトルをつける TITLE

(ディスク・タイトル・メモリー)

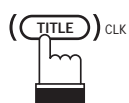
お気に入りのCDにタイトルをつけて、演奏中にタイトルをディスプレイに表示させることができます。CDチェンジャーは最大8桁のタイトルがつけられます。



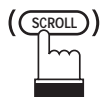
- 1** CD / チェンジャー・モードのときに、TITLE (タイトル) スイッチを押します。タイトル表示モードにします。



- 2** TITLEスイッチを3秒以上押します。ディスプレイの1桁目が点滅し、入力可能となります。



- 3** SCROLL (スクロール) スイッチを押して入力する文字モードを選びます。モードは、アルファベット、カタカナ、数字、記号から選べます。
(21ページの文字記号一覧表参照)



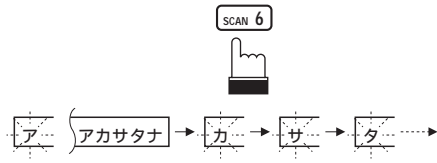
- 4** アルファベット、数字、記号入力の場合

- (1) **SCAN 6** スイッチを押します。
押すごとにA B C...と切りかわります。
MONO 4 スイッチは逆に切りかわります。

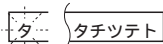
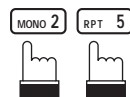


カタカナ入力の場合

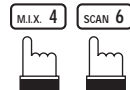
- (1) **SCAN 6** スイッチを押します。
押すごとにアカサタナ...と切りかわりますので、50音の「行」を選びます。
MONO 4 スイッチは逆に切りかわります。



- (2) **MONO 2** または **RPT 5** スイッチを押します。
表示が「列」に切りかわります。

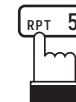


- (3) **MONO 4** または **SCAN 6** スイッチを押して、入力したい文字を選びます。

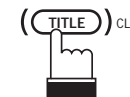


促音 (小文字) にするには

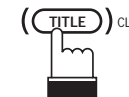
MONO 5 スイッチを押します。**MONO 2** スイッチで、大文字に戻ります。入力可能な促音 (小文字) は下記 文字記号一覧表 のとおりです。



- 5** TITLEスイッチを軽く押します。
1桁目が確定し、2桁目が点滅します。



- 6** 3から5を繰り返し、8桁まで入力できます。
TITLEスイッチを3秒以上押し、タイトル入力を終了させます。



ディスプレイに“ Full Data ”と表示されたときは、メモリーがいっぱいになっています。このときに、新しいタイトルを入力すると最初に入力した一番古いタイトルが消え、新しいタイトルがメモリーされます。メモリーしたタイトルは、接続コード (バッテリー電源コード) を外すと消去される場合がありますのでご注意ください。

文字記号一覧表

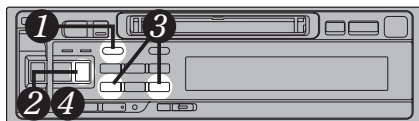
A(a)	B(b)	C(c)	D(d)	E(e)	F(f)	G(g)	H(h)	I(i)	J(j)
K(k)	L(l)	M(m)	N(n)	O(o)	P(p)	Q(q)	R(r)	S(s)	T(t)
U(u)	V(v)	W(w)	X(x)	Y(y)	Z(z)	ア(ア)	イ(イ)	ウ(ウ)	エ(エ)
オ(オ)	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
ソ	タ	チ	ツ(ツ)	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ
ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ
モ	ヤ(ヤ)	ユ(ユ)	ヨ(ヨ)	・	・	ラ	リ	ル	レ
ロ	ワ	ヲ	ン	。		0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	!	”	#	\$
%	&	'	()	*	+	,	-	.
/	:	;	<	=	>	?	。	「	」
、	・	(スペース)							



記憶させたタイトルから 曲を検索する

T.S.M.(タイトル・サーチ・メニュー)

記憶させたCDチェンジャーのディスク・タイトルを表示させて、聴きたい曲を検索し、演奏させることができます。



- 1 TITLEスイッチを押して、タイトル表示モードにします。

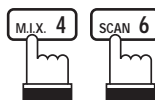


- 2 T.S.M.(タイトル・サーチ・メニュー)スイッチを3秒以上押します。

T.S.M.モードがスタートし、CDチェンジャーのディスク・タイトルが点滅表示します。



- 3 **MLX 4** または **SCAN 6** を押して、聴きたいディスクのタイトルを探します。



- 4 聴きたいディスクのタイトルが表示されたら、T.S.M.スイッチを押します。

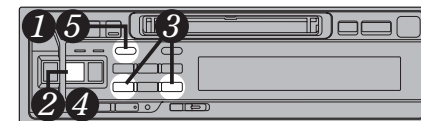
T.S.M.モードを解除し、演奏が始まります。



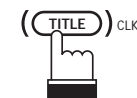
きれいな音で楽しむには
音楽を聴いているときの「バチバチ、ヒューヒュー」といった雑音は、車両雑音がオーディオ・システムに進入してきたために起こる現象です。このような場合、アース線の接続にゆりみがないかチェックしてください。また、ノイズフィルタを使えば効果的に雑音を減らすことができますので、販売店にお問い合わせください。



記憶させたタイトル を消す



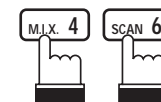
- 1 CD / チェンジャー・モードのときに、TITLEスイッチを押し、タイトル表示モードにします。さらに3秒以上押します。
ディスプレイの1桁目が点滅します。



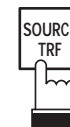
- 2 SOURCEスイッチを3秒以上押します。
再生中のディスクにかかわらず、最初にメモリーされたタイトルが点滅して表示されます。



- 3 **MLX 4** または **SCAN 6** スイッチを押して、消したいタイトルを探します。



- 4 タイトルが見つかったら、SOURCEスイッチを3秒以上押します。
タイトルが消え、他のタイトルを表示します。

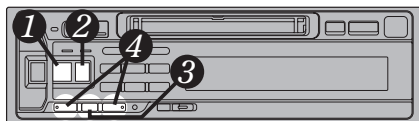


- 5 解除するには、TITLEスイッチを3秒以上押します。





周波数で放送局を選ぶ (マニュアル)



- 1** SOURCEスイッチを押します。
押すごとにモードが切りかわります。
ディスプレイの表示を見ながらチューナー・モードに合わせてください。



→ TUNER → TV → MD → CHANGER →

(各ユニットを接続している場合に表示)



切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

- 2** BAND (バンド) スイッチを押して、バンド (FM1、FM2、AM) を選びます。
押すごとにバンドが切りかわります。



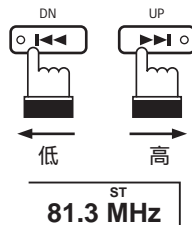
F1
F2
AM

- 3** TUNE (チューニング切りかえ) スイッチを押してMANUAL (マニュアル・モード) にします。
初期設定は DX SEEK になっています。



DX SEEK
LOCAL SEEK
MANUAL

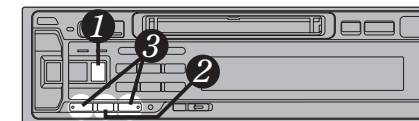
- 4** DN / UPスイッチを押します。
押すごとに1段階ずつ周波数が切りかわります。



ディスプレイにSTインジケータが点灯しているときは、ステレオ放送が受信されている状態になっています。また、ステレオ放送が聴きにくいときはモノラル受信に切りかえることができます。切りかえかたは、26ページ「ステレオ放送が聴きにくいときは」を参照してください。



自動で放送局を選ぶ SEEK



自動 (SEEK) で放送局を選ぶときには、あらかじめTUNE (チューニング切りかえ) スイッチで受信感度を設定しておくくと便利です。
ディスプレイにSEEK DXインジケータが点灯していれば受信感度はディスタンス・モードです。
SEEKインジケータだけが点灯していればローカル・モードです。

- 1** チューナー・モードのときに、BANDスイッチを押してバンドを選びます。
押すごとにバンドが切りかわります。



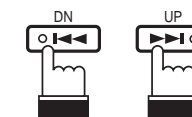
F1
F2
AM

- 2** TUNEスイッチを押します。
押すごとにモードが切りかわります。
ディスタンス / ローカル・モードのいずれかを選びます。
初期設定は DX SEEK になっています。



DX SEEK (ディスタンス・モード)
LOCAL SEEK (ローカル・モード)
MANUAL

- 3** DN / UPスイッチを押します。
放送局を探し始め、受信するとその局の放送を始めます。別の放送局を探すには、再度、DN / UPスイッチを押します。



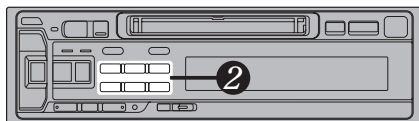
88.5 MHz



受信感度には次の2種類があります。
DX SEEK (ディスタンス・モード) ... 電波の強弱にかかわらず、受信可能な放送局がすべて受信されます。
SEEK (ローカル・モード) ... 電波の強い放送局だけが受信されます。



放送局を記憶する (プリセット・メモリー)

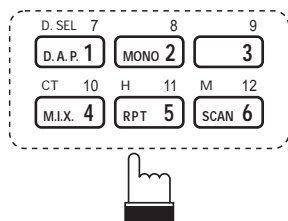


- 1** ①24、25ページを参照し、記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

- 2** ②プリセット(□1~□6)スイッチのいずれか1つを2秒以上押します。
ディスプレイの周波数が点滅します。

- ③ディスプレイの周波数が点滅している間(約5秒以内)に記憶させたいプリセット(□1~□6)スイッチを押します。
放送局が記憶(プリセット)されると、ディスプレイの周波数が点滅から点灯に変わります。

- ④さらに放送局の記憶を続けるには、手順①~③を繰り返し行います。



1 88.5 MHz



放送局は全部で24局記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局、FM+AM...6局(D.A.P.)
すでに記憶させたプリセット・スイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局の方が有効になります。
記憶させた放送局は、接続コード(バッテリー電源コード)を外すと消去されますのでご注意ください。

ステレオ放送が聴きにくいときは
モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。

Fスイッチを押して、インジケータを
消灯(OFF)させて、MONO(モノラル)
スイッチを押します。

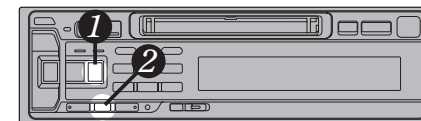
STインジケータが消え、モノラル受信に切りかわります。
ステレオ受信に戻すには、再度MONOスイッチを押します。



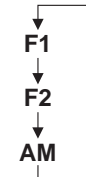
(OFF)
↑↓
MONO



自動で放送局を記憶する A.ME (オート・メモリー)



- 1** BANDスイッチを押して受信したいバンドを表示させます。



- 2** A.ME(オート・メモリー)スイッチを2秒以上押します。

電波の強い順に6つの放送局を自動的に受信し、□1~□6スイッチに記憶させます。自動記憶が終わると□1スイッチに記憶された放送局が受信されます。

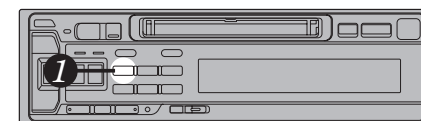


AUTO MEMORY



放送局を1つも受信できなかったときは、自動記憶の操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

FM/AM放送局を合わせて記憶する D.A.P. (ダイレクト・アクセスメモリー・プリセット)



同じバンドにFM放送局とAM放送局を合わせて6局記憶することができます。

- 1** Fスイッチを押してインジケータを消灯させて、D.A.P.スイッチを押します。



(OFF)
↑↓
D.A.P.

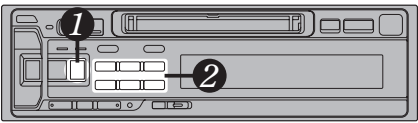
次に放送局を選択して記憶させます。

放送局の選択・記憶のしかたは「自動で放送局を記憶する A.ME(オート・メモリー)」または「放送局を記憶する(プリセット・メモリー)」(26ページ)を参照してください。

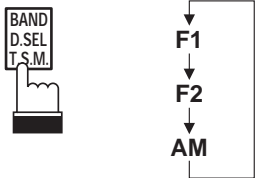
解除するには、再度D.A.P.スイッチを押します。



記憶させた放送局を受信する



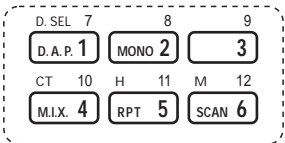
1 BANDスイッチを押して、バンドを選びます。
押すごとにバンドが切りかわります。



FM / AM放送局を合わせて記憶させた場合には、D.A.P.インジケーターをONにします。

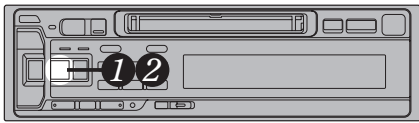
D.A.P.

2 記憶させた放送局のプリセット (☐ 1 ~ ☐ 6) スwitchのいずれか1つを押します。
選択した放送局が受信されます。



F1 2 82.5

道路交通情報を聴く TRF



(トラフィック・インフォメーション)

MD、ラジオのいずれかを聴いているときでも、交通情報を受信することができます。

1 TRF (トラフィック・インフォメーション) スwitchを2秒以上押します。
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信します。



TRF 1620

TRF 1629



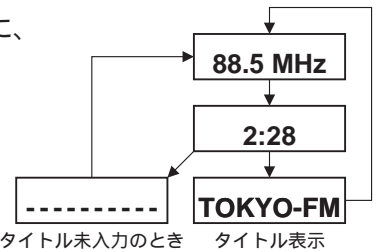
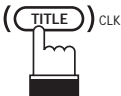
◀▶ スwitchを押して1620kHz、1629kHzを切りかえます。

2 TRFモードを解除するには、再度TRFスitchを押します。



放送局のタイトルを表示するには (入力方法は、30ページ参照)

チューナー・モードのときに、TITLEスitchを押します。
押すごとに表示が切りかわります。



タイトル未入力のとき タイトル表示



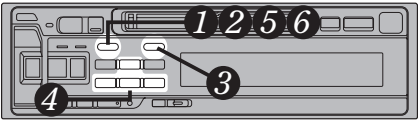
ラジオを聴く



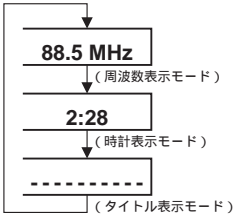
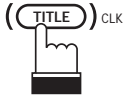
放送局にタイトルをつける TITLE

(ステーション・タイトル・メモリー)

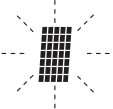
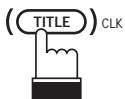
放送局にタイトルをつけてディスプレイに表示させることができます。FMとAM合わせて最大18局のタイトルがつけられます。



- 1 チューナー・モードのときに、TITLEスイッチを押します。
タイトル表示モードにします。



- 2 TITLEスイッチを3秒以上押します。
ディスプレイの1桁目が点滅し、入力可能となります。



- 3 SCROLL (スクロール) スwitchを押して入力する文字モードを選びます。
モードは、アルファベット、カタカナ、数字、記号から選べます。
(31ページの文字記号一覧表参照)



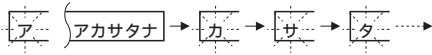
4 アルファベット、数字、記号入力の場合

- (1) **SCAN 6** スwitchを押します。
押すごとにA B C...と切りかわります。
MONO 4 スwitchは逆に切りかわります。

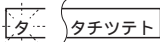
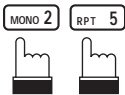


カタカナ入力の場合

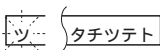
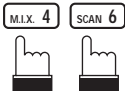
- (1) **SCAN 6** スwitchを押します。
押すごとにアカサタナ...と切りかわりますので、50音の「行」を選びます。
MONO 4 スwitchは逆に切りかわります。



- (2) **MONO 2** または **RPT 5** スwitchを押します。
表示が「列」に切りかわります。



- (3) **MONO 4** または **SCAN 6** スwitchを押して、
入力したい文字を選びます。

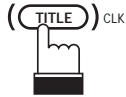


促音 (小文字) にするには

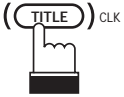
RPT 5 スwitchを押します。 **MONO 2** スwitchで、大文字に戻ります。入力可能な促音 (小文字) は下記 文字記号一覧表 のとおりです。



- 5 TITLEスイッチを軽く押します。
1桁目が確定し、2桁目が点滅します。



- 6 3から5を繰り返し、10桁まで入力できます。
TITLEスイッチを3秒以上押し、タイトル入力を終了させます。
解除するには、TITLEスイッチを押して表示モードを切りかえます。



ディスプレイに“ Full Data ”と表示されたときは、メモリーがいっぱいになっています。このときに、新しいタイトルを入力すると最初に入力した一番古いタイトルが消え、新しいタイトルがメモリーされます。メモリーしたタイトルは、接続コード (バッテリー電源コード) を外すと消去されますのでご注意ください。

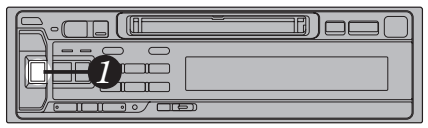
文字記号一覧表

A(a)	B(b)	C(c)	D(d)	E(e)	F(f)	G(g)	H(h)	I(i)	J(j)
K(k)	L(l)	M(m)	N(n)	O(o)	P(p)	Q(q)	R(r)	S(s)	T(t)
U(u)	V(v)	W(w)	X(x)	Y(y)	Z(z)	ア(ア)	イ(イ)	ウ(ウ)	エ(エ)
オ(オ)	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
ソ	タ	チ	ツ(ツ)	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ
ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ
モ	ヤ(ヤ)	ユ(ユ)	ヨ(ヨ)	・	・	ラ	リ	ル	レ
ロ	ワ	ヲ	ン	。		0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	!	”	#	\$
%	&	'	()	*	+	,	-	.
/	:	;	<	=	>	?	。	「	」
、	・	(スペース)							



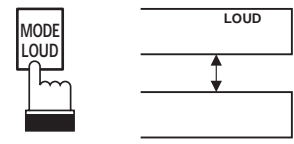
ラウドネスのON / OFF サブウーハーレベルの調整

ラウドネスをON / OFF する

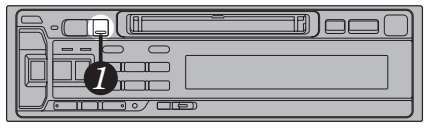


人間の耳は音が小さくなると高音や低音が聴こえにくくなります。この音域の不足感を補うために高音・低音域を強調させ、聴きやすくさせるのがラウドネス機能です。

- 1 LOUD(ラウドネス)スイッチを2秒以上押します。
LOUDインジケーターが点灯します。
解除するには、再度LOUDスイッチを2秒以上押します。

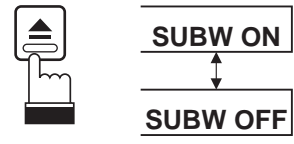


サブウーハーレベルを 調整する



サブウーハー機能を持った外部アンプを接続しているときは、設定モードで内部のサブウーハー出力をOFFにします。

- 1 ▲(イジェクト)スイッチを3秒以上押します。
3秒以上押すごとにON / OFFが切りかわります。

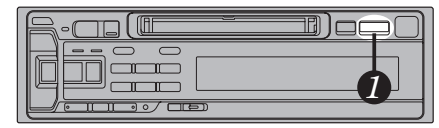


Memo SUBW ONにした場合には、10、11ページを参考にレベルを調整してください。
工場出荷時の設定は、SUBW OFFになっています。



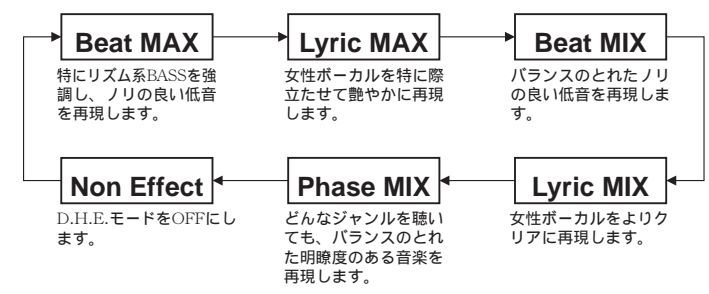
D.H.E.モードの選択

D.H.E.モードを選択 する



D.H.E.(Digital Harmonics Enhancer)は、デジタル信号処理技術を用いて、楽器などの音色を決定する「倍音成分」を操作しています。
周波数帯域毎に独立に操作することにより、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内に於いても音楽をクリアに再生することができます。

- 1 D.H.E.スイッチを押します。
押すごとに表示が切りかわります。
お好みのモードを選んでください。

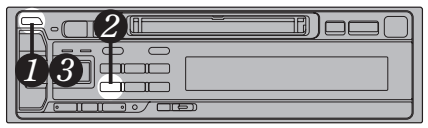


Memo D.H.E.機能の詳しい説明は、P.46-P.47の「D.H.E.について」をご覧ください。

便利な機能



FMダイバーシティをON/OFFする

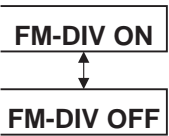


走行中の電波状況に応じて、受信状態の最もよいアンテナを複数のアンテナから自動で選択し、常に安定した受信状態にします。
ダイバーシティ・アンテナ車の場合、ONに設定します。

1 INTLZスイッチを3秒以上押します。

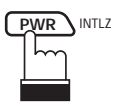


2 プリセット **MIX 4** スwitchを押します。
押すごとに表示が切りかわります。

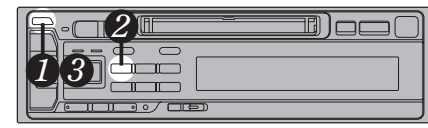


工場出荷時の設定は、FM-DIV OFFになっています。

3 設定が終了したらINTLZスイッチを押します。



サウンドガイド機能

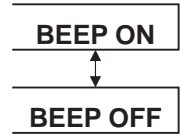
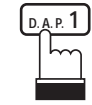


スイッチを押したときに鳴るBEEP（音）を消すことができます。

1 INTLZスイッチを3秒以上押します。



2 プリセット **D.A.P. 1** スwitchを押します。
押すごとに表示が切りかわります。



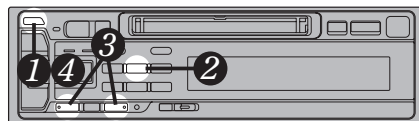
工場出荷時の設定は、BEEP ONになっています。

3 設定が終了したらINTLZスイッチを押します。





コントラストを調整する



ディスプレイ表示が見えにくいときは、コントラスト（明るさ）を調整することができます。

1 INTLZスイッチを3秒以上押します。

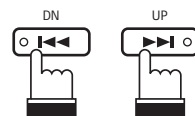


2 プリセット **MONO 2** スイッチを押します。



CONTRAST 0

3 ◀▶/▶▶スイッチを押して、明るさを調整します。
- 6 ~ + 6 までの段階で調整することができます。

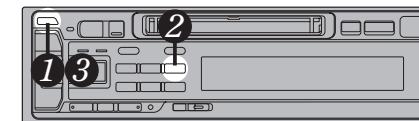


工場出荷時の設定は、0になっています。

4 設定が終了したらINTLZスイッチを押します。

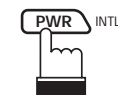


外部割り込みモードのON/OFF



外部割り込みモードをONにすると、外部ユニットの音声を割り込ませるので、本体の音声にミュート (MUTE) がかかり、音声操作ができなくなります。これは、ナビゲーションの音声や電話の音を聞き逃すことがないようにするものです。

1 INTLZスイッチを3秒以上押します。

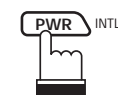


2 プリセット **3** スイッチを押します。
押すごとに表示が切りかわります。



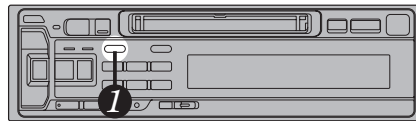
この機能は、将来の拡張機能で、IN INT（音声割り込み）コードが接続されている場合に有効となります。

3 設定が終わったらINTLZスイッチを押します。

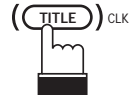




時刻を表示する



- 1 CLK (クロック) スイッチを押します。
- 時刻が表示されます。

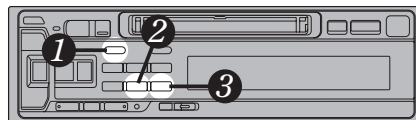


12:00

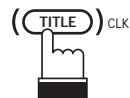


時刻を表示しているときにラジオ / MDの操作をしても、各操作モードを表示してから5秒後には時刻表示に戻ります。
 本体の電源がOFFの状態でも車のイグニッション・キーがONのときに、CLKスイッチを押すと時刻を表示します。
 エンジンが停止している状態のときに長時間ご使用にならないでください。バッテリーが放電し、エンジン始動に支障をきたす場合があります。

時刻を設定する



- 1 電源がONのとき、CLKスイッチを押して時刻を表示させます。さらにCLKスイッチを3秒以上押します。
- 時刻が点滅します。



12:00

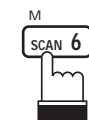
- 2 点滅中に^HRPT 5スイッチを押して「時」を合わせます。



9:00

9:35に合わせる場合

- 3 点滅中に^MSCAN 6スイッチを押して「分」を合わせます。



9:35



各設定は点滅している間に行ってください。5秒後に時刻が確定されます。
 時報に合わせるときは、手順2の「時」設定後、^{CT}MIX 4スイッチを押します。分表示が00になります。時刻が「:30」を過ぎた表示のときに^{CT}MIX 4スイッチを押すと「時」は繰り上がった時刻を表示します。例えば、「9:35」のときに^{CT}MIX 4スイッチを押すと、「10:00」を表示します。

使用時のご注意

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。

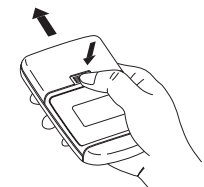
リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量な精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

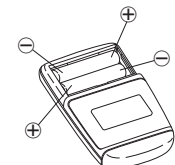
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

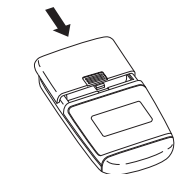
- 1 ふたを開ける
- ふたを少し強めに押しながら矢印の方向に外します。



- 2 電池を入れかえる
- 電池を外し、新しい電池を本体の⊕、⊖表示に従って入れてください。



- 3 ふたを閉める
- ふたを押して「カチッ」と音がするまで矢印の方向に押します。



電池は、単4乾電池(UM-4)×2をご使用ください。

⚠警告

運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



基本操作

音量調整スイッチ

音量を大きくします。... スイッチ
音量を小さくします。... スイッチ

ミュート・スイッチ

瞬時に20dB音量を下げます。再度押すと解除します。

電源スイッチ

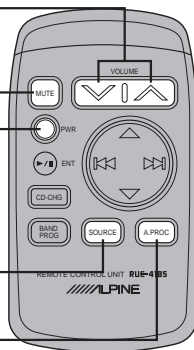
電源のON / OFFを行います。

オーディオ・ソース選択スイッチ

オーディオ・ソースを切りかえます。

オーディオ・プロセッサ・スイッチ

本製品では使用しません。



MD / CDを操作する

ミュージック・センサー・スイッチ

曲の頭に戻ります。さらに押すと手前の曲の頭出しを行います。押し続けると早送りします。

DISCセレクト・スイッチ*

ディスクNo.が切りかわります。

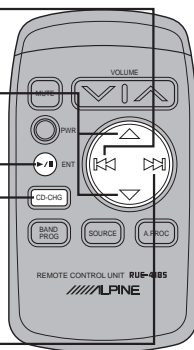
プレイ / ポーズ・スイッチ

CDチェンジャー・スイッチ

CDチェンジャー操作に切りかえます。

ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。



*チェンジャー接続時

ラジオを聴く

チューニング・スイッチ

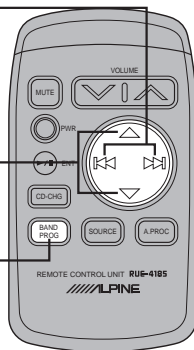
放送局を選びます。
押すごとに周波数が切りかわります。
押し続けると自動で放送局を探します。

プリセット・アップ / ダウン・スイッチ

プリセットNo.を切りかえます。

バンド・スイッチ

バンドを切りかえます。



ミニディスクとは

カートリッジの中に直径64mmのディスクが収められたもので取扱性に優れています。ディスクに触れずに信号を読み取りますので、テープのように絡んだり音質が劣化することがありません。記録方式はATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding)という圧縮技術を利用して音楽データを約1/5にしてありますが、CDに迫る音質を実現しています。

取り扱い

ミニディスクはカートリッジに収納されているためホコリや指紋が付く心配がありません。ただし、カートリッジの汚れがすき間から入ったり、正しい取り扱いをしないと誤動作の原因になることがありますので、次のことを守ってお使いください。

シャッターを開けない

内部にさわらない

ホコリやごみが付いたら拭きとる

(外側や裏面中央の円形部)

直射日光下に置かない

砂やホコリが入りやすい場所には置かない

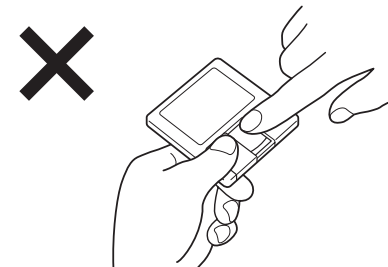
ラベルは正しい位置に貼る

ラベルは一枚だけ貼る

ラベルははがれないように貼る

聴かないときはケースに入れて保管する

シャッターを開けない



本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。
それでも調子が悪いときは、お買上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

症 状	原 因	処 置
共通部	動作しない。 ディスプレイに何も表示されない。	車のイグニッション・キーがOFFになっている。
		車のイグニッション・キーをONにする。
		本機の電源が入っていない。
		車のイグニッション・キーをONにし、本機のPWRスイッチを押して、電源を入れる。
		電源コードの接続が不完全。
		電源コードの接続を確実に行う。
		ヒューズが切れている。
ラジオ部		規定容量のヒューズと交換する。
		内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
		リセット・スイッチをボールペンの先などで押してください。
ラジオ部	電源は入るが音が出ない。	音量レベルが最小になっている。
		音量レベルを上げる。

症 状	原 因	処 置
ラジオ部	受信できない。	アンテナが接続されていない。 または伸びていない。
		アンテナが確実に接続されているか確認する。
	自動的に放送局を選べない。	電波の弱い地域にいる。
		DX（ディスタンス）モードで受信する。
		アンテナが確実に取り付けられていない。 またはアース線が接続されていない。
		アンテナが確実に取り付けられているか、アース線が正しく接続されているか確認する。
		アンテナの長さが適切でない。
ラジオ部		アンテナを十分に伸ばす。 破損している場合は、新しいものと交換する。
	雑音が入る。	アンテナの長さが適切でない。
		アンテナを十分に伸ばす。 破損している場合は、新しいものと交換する。
		アンテナのアース線の接続が不完全。
ラジオ部		アンテナのアース線を確実に接続する。
		電波が弱く、雑音が多い。
		雑音が少なくなるまで、別の放送局を受信する。

症 状	原 因	処 置
M D 部	演奏が始まらない。	車内温度が50 以上ある。
		車内温度を適温まで下げてから、演奏させる。
	音が歪む。	プレーヤーの内部に水滴が付いている。
		完全に露がとれてから（約1時間後）使う。
	ディスクが入らない。	すでに別のディスクが入っている。
		ディスクを取り出してから入れ直す。
		ディスクの入れ方が間違っている。
		本書を参照し、正しく入れる。
M D 部	早送り / 早戻しができない。	ディスクに傷がついている。
		ディスクを交換する。 傷ついたディスクを使い続けると、故障の原因になります。
	振動で音がとぶ。	本機が正しく取り付けられていない。
		正しく取り付け直す。
M D 部	振動がないのに音がとぶ。	ディスクがひどく汚れている。
		ディスクをクリーニングする。 傷ついたディスクは交換する。

症 状	原 因	処 置
High Temp.	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。 イジェクト・スイッチを押して、ディスクを取り出す。
ERROR	メカニズム・エラー。	①イジェクト・スイッチを押す。 ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③それでも復旧しない... サービス・ショップへ。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。

その他

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いとき.....まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪いとき...保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または添付の“サービス・ショップのご案内”にあるお近くのサービス・ショップに、修理を依頼してください。
保証期間中の修理.....保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理.....修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
補修用性能部品.....製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

<チューナー部>

受信周波数.....AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度.....AM ; 22.5μV, FM ; 0.8μV(75) : 9.3dB(新IHF)
ステレオ・セパレーション.....FM ; 35dB以上
SN比FM ; 65dB以上
周波数特性.....FM ; 30 ~ 15,000Hz
イメージ妨害比.....FM ; 80dB以上
IF妨害比.....FM ; 80dB以上

<MD部>

周波数特性.....20Hz ~ 20kHz (±0.5dB)
ダイナミック・レンジ.....90dB (1kHz) 以下
SN比90dB (1kHz) 以上
ワウフラッター.....測定限界以下

<リモコン部>

使用電源.....DC1.5V × 2 (UM-4)
外形寸法.....56(幅) × 14(高さ) × 105(奥行)mm
重量.....50g(電池は含まれない)

<一般>

使用電源.....DC14.4V (動作範囲 ; 11 ~ 16V)
アース方式.....⊖アース
最大出力.....40W × 4
出力レベル.....500mV / 10k
バス・コントロール.....± 15dB (30Hz)
トレブル・コントロール.....± 10dB (10kHz)
外形寸法.....178(幅) × 50(高さ) × 156(奥行)mm
重量.....1.5kg

<付属品>

品 名	数 量
取付用部品類	1 式
電源コード	1
リモコン	1
電池(単4)	2
取扱説明書・保証書類	1 式

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

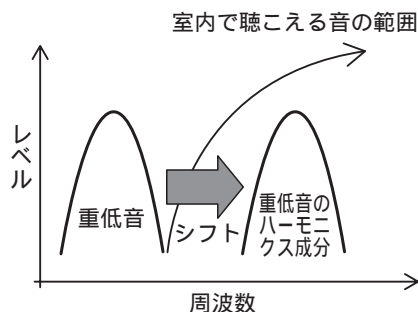
圧縮技術「ATRAC」が可能にしたMDは、高度な圧縮技術「ATRAC」により直径64mmのディスクに最長74分もの録音を可能にした。「ATRAC」は、マスキング効果（小さい音は大きい音に隠れて聴こえなくなってしまう）や最小可聴次元性とよばれるヒアリング・スレッショルド特性（低音域や高音域は中音域よりも聴こえにくい）を考慮して聴感上問題のない音のデータを取り去っているのだ。聴感上問題は無いとは言え、これは表情豊かな音楽再生に必要なハーモニクス成分もカットしているのである。

新開発D.H.E.(Digital Harmonics Enhancer)はここがすごい！

きわだつ重低音

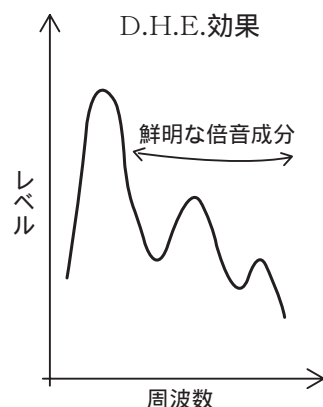
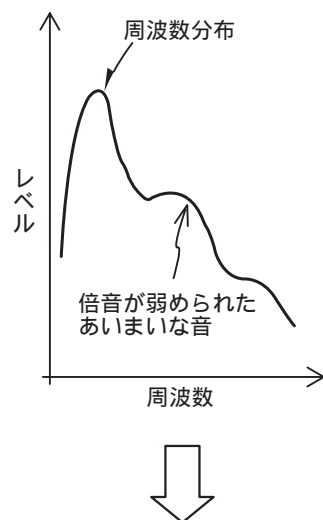
さまざまな制約の多い車室空間。ガラス／レザー／クロスなど音を吸収反射する素材に包まれたり、走行ノイズに邪魔されるなど音響空間としては問題が多い。更に低音を聴くためには必要なスピーカーは大きな口径を確保するのは難しい。

D.H.E.は音楽中の低音成分から重低音部分のハーモニクス（倍音）成分を抽出。その成分を車載スピーカーでも再生しやすい帯域にシフトすることで、今まで不可能だった重低音の再生を可能にした。



艶やかでみずみずしい音色の実現

音響的に音を特徴づけているのは「ハーモニクス（倍音）」と呼ばれているもの。基本周波数の奇数倍の振動で音色を決める重要なファクターである。D.H.E.は音楽からハーモニクス成分を抽出し、デジタル処理を施し、音楽を特徴づけている「ハーモニクス（倍音）」を強調する。表情が豊かに成った音に必ず感動するはずだ。



原音をクリアに再現

イコライザーやサラウンド機能での補正は、音バランスの狂いや位相のズレなどで音がばやけてしまうことがあった。その音楽自身から「ハーモニクス（倍音）」を抽出しデジタル処理するD.H.E.は、そのような問題は一切起こらない。シャープな音像、クリアなセパレーションなど今まで味わえなかった「臨場感」を経験できる。

この音を楽しんでもらうために
5つの「D.H.E.モード」を用意！

Beat MAX

リズム系ベースサウンドを強調。ノリの良い低音で迫る。

Lyric MAX

強く、艶やかに際だつ女性ボーカル。

Beat MIX

バランスの取れたノリのいいベースサウンド。

Lyric MIX

クリア、そしてリアルな女性ボーカル。

Phase MIX

バランス重視。あらゆるジャンルの音楽をクリアに再生。